

トリリオンノードエンジン活用事例 物流倉庫のごみ箱内廃棄量検知



ディー・クルー・テクノロジーズ株式会社

エレコムグループ

2020.01.30

会社概要

社名	ディー・クルー・テクノロジーズ株式会社
英字表記	D-CLUE Technologies Co., Ltd.
設立	2003年6月 (2017年6月 エレコムグループに合流)
代表取締役	石川 明彦 (CEO)
役員	美齊津 摂夫 取締役 葉田 順治 取締役 梶浦 幸二 取締役 櫻井 裕行 取締役 戸井田 俊光 監査役
スタッフ数 2019年10月1日現在	65名 (嘱託・契約・派遣スタッフ・協力会社社員を含む)
資本金	7,000万円
所在地	横浜本社 横浜市港北区新横浜 博多オフィス 福岡市博多区博多駅南 北米オフィス アリゾナ州 フェニックス 台湾オフィス 台北市

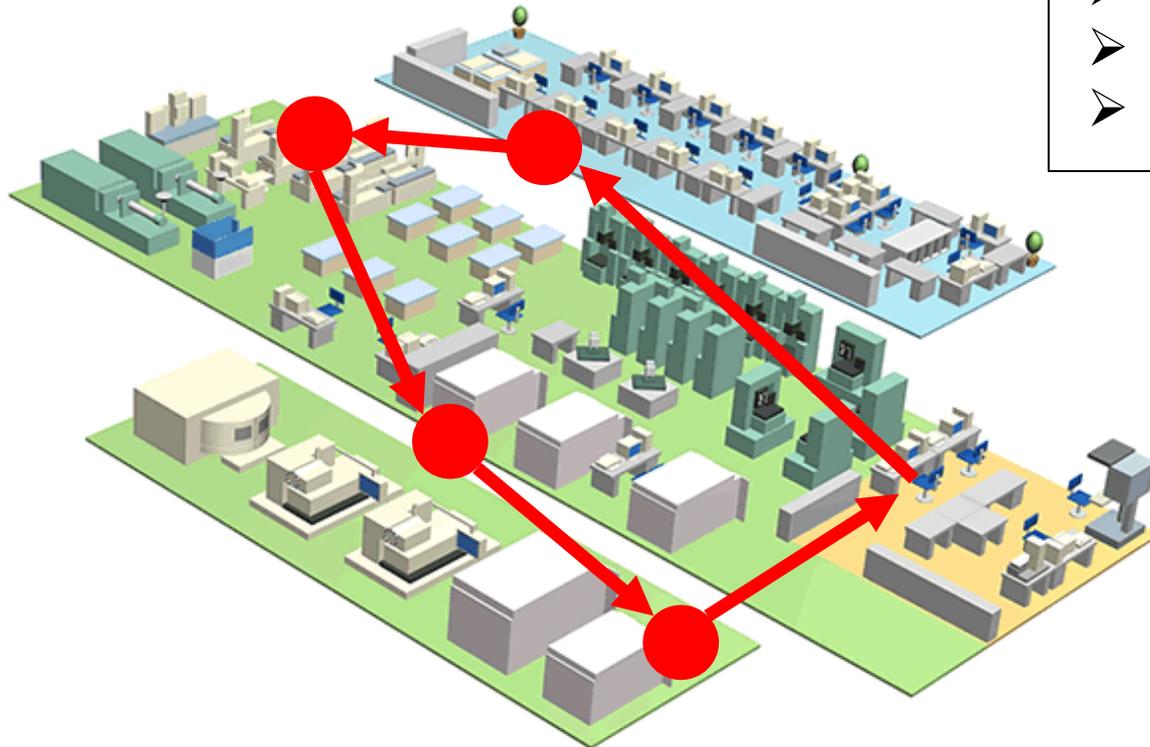


【社名の由来】

DはDesign、Dream、Development、Dynamic等の語句を表しています。Clueはつなぐ・つながり、または解決の手がかり、糸口といった意味があり、社名には、「全てをダイナミックにつなぐことで、お客様とともに目標(夢)に向かって活動していく」との決意が込められています。

物流倉庫のごみ箱内廃棄量検知

工場内フロア



<現状>

作業員が定期的に巡回して回収している

- 作業員の常時稼働が必要
- 専任人員確保が必要
- 貯まった量によらず回収



物流倉庫のごみ箱内廃棄量検知

工場内フロア

ゴミ箱の状況を自動通知

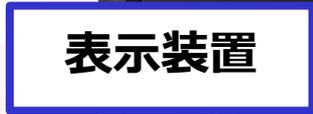
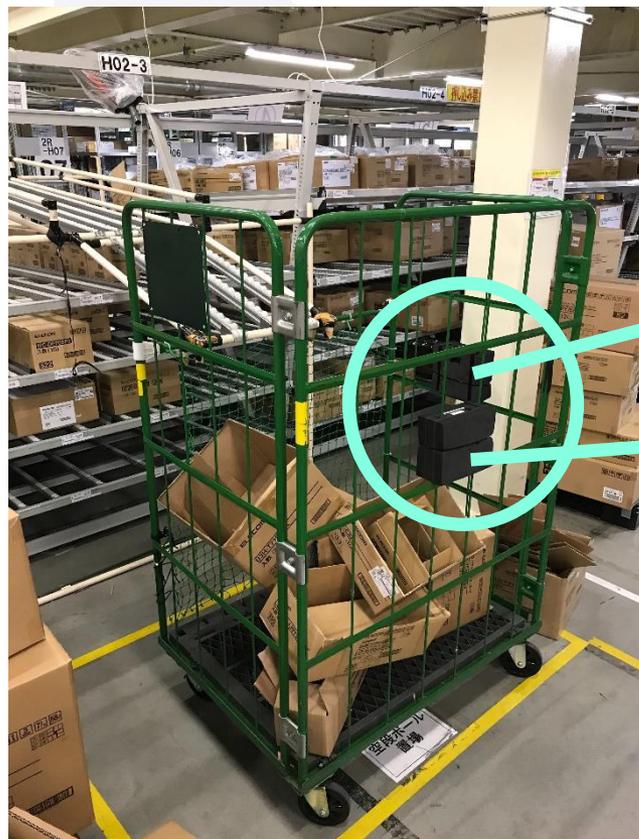
管理画面

フロア名	ゴミ箱状況	前回回収時間
エリア1	いっぱい	1時間前
エリア2	いっぱい	30分前
エリア3	いっぱい	30分前
エリア4	すくない	1時間前

- < 本装置導入後 >
- 必要な時のみ回収
 - 他業務と兼務出来る



- 配送センターのカートに設置し、廃棄量の監視を実施



センシング装置概要

センシング装置



トリリオンノードエンジンのBasicキットとExtensionキットを用いて、超音波距離測定装置の試作を行った。

- 主用部分(マイコン、電源等)はBasicキットを使用
- Grove I/F 対応 超音波センサを使用 (Grove&5Vリーフ使用)
- Subgiga帯通信を使用(新規リーフ作成)

短TATで試作装置を入手でき、実際の現場での試験開始を早くできた。

今後も、試作開発にはトリリオンノードエンジンを積極的に活用し、試作開発を短TATで行う。